

# 令和2年度海老名市予算の概要

みんなが笑顔 ～新たなる未来の創造～

## 予算規模

( )内は対前年度比

◆**予算総額** 736億2,300万円 (25億3,700万円、3.6%増)

◆**一般会計** 458億9,400万円 (20億6,500万円、4.7%増)

◆**特別会計** 228億8,600万円 (6億8,700万円、3.1%増)

- ・国民健康保険事業特別会計 119億3,300万円 (△2億2,300万円、1.8%減)
- ・介護保険事業特別会計 90億7,500万円 (6億9,900万円、8.3%増)
- ・後期高齢者医療事業特別会計 18億7,800万円 (2億1,100万円、12.6%増)

◆**企業会計** 48億4,300万円 (△2億1,400万円、4.2%減)

- ・公共下水道事業会計 48億4,300万円 (△2億1,400万円、4.2%減)

予算総額は4年連続、一般会計は3年連続で**過去最大**となりました。

## 歳入 (一般会計)

( )内は対前年度比

○**市税** 236億3,000万円 (△1億3,800万円、0.6%減)

- ・個人市民税 91億4,200万円 (2億3,400万円、2.6%増)
- ・法人市民税 15億900万円 (△4億9,700万円、24.8%減)
- ・固定資産税 105億1,700万円 (6,400万円、0.6%増) ※過去最大

○**地方譲与税及び各種交付金** 36億9,400万円 (2億5,900万円、7.5%増)

○**基金繰入金** 13億6,600万円 (7億5,700万円、124.2%増)

○**市債** 33億9,400万円 (5億8,300万円、20.7%増)

## 歳出 (一般会計)

( )内は対前年度比

○**義務的経費** 235億6,200万円 (18億1,900万円、8.4%増)

- ・人件費： 82億4,600万円 (10億2,100万円、14.1%増)  
※会計年度任用職員への移行に伴う増額
- ・扶助費： 122億900万円 (7億3,300万円、6.4%増)
- ・公債費： 31億700万円 (6,500万円、2.1%増)

○**普通建設事業費** 57億8,800万円 (7億3,100万円、14.5%増)

# 主要事業の概要

将来にわたり持続可能な行財政運営、世界的に注目される様々なイベントの成功などを目指して、令和2年度の予算は「みんなが笑顔 ～新たなる未来の創造～」として編成いたしました。

## 充実して暮らせるまち

### 防犯灯LED化整備事業 5,800万円〈新規〉

市民の安全を守る防犯灯のLED化を推進し、電力量、料金の削減と二酸化炭素の排出抑制及び長寿命化による環境負荷の軽減を図ります。

### スポーツ施設の改修事業 2億800万円

海老名運動公園総合体育館及び屋内プールの設備の改修整備を行い、施設利用者等の快適性・安全性を確保します。



LED防犯灯のイメージ

## 健やかに暮らせるまち

### 福祉法人設立準備会の設置 100万円〈新規〉

障がい者の暮らしと自立を独自にサポートする「福祉法人」の設立に向け、準備会を設置し、検討を行います。

### 海老名市版オーラルフレイル事業の継続実施 1,000万円

55歳以上を対象とした「オーラルフレイル健診」を実施し、口腔機能の低下予防に努め、健康寿命の延伸を図ります。



障がい者自立支援のイメージ

### 高齢者、中学3年生インフルエンザ予防接種助成 6,400万円

平成30年度より実施している助成事業を継続し、予防接種の接種率を高め、インフルエンザの集団感染や重症化を予防します。

### 勝瀬保育園民営化、門沢橋保育園給食調理業務委託 2,500万円〈新規〉

平成30年8月に策定した「公立保育園のあり方」に基づき、段階的に一部の公立保育園の民営化を図るため、勝瀬保育園の民設民営の移管先を検討する選定委員会を設置します。また、門沢橋保育園の給食調理業務を委託し、安定的な給食調理体制の構築を目指します。



## にぎわいがあり自然に優しいまち

### 農業基盤整備事業 2,700万円

農業振興地域内の田を対象とした畦畔けいはんの除去や、本郷地区の水路及び暗きょ排水、道路の整備工事を行い、農地の集積や農産物の生産性の向上を図ります。

### ふるさと納税事業の拡大 2億300万円

市外の方からの寄附の受入れを推進し、歳入の確保に努めるとともに、地元企業と連携しながら、地域経済の活性化を図ります。

### ごみ減量化・資源化の促進 2億9,300万円

令和元年度より実施している「家庭系ごみ処理の一部有料化と戸別収集」を継続し、より一層の燃やせるごみの減量化、資源化の促進を図ります。



畦畔を除去した水田のイメージ



戸別収集の様子

## 便利で快適に暮らせるまち

### 厚木駅南地区市街地再開発事業の推進 5億1,700万円

組合へ補助を行い、厚木駅南地区の都市基盤及び良好な住環境の整備を推進します。



厚木駅南地区市街地再開発イメージ

### (仮称) 上郷河原口線アプローチ部の工事着工 9,900万円〈新規〉

海老名駅周辺道路のネットワーク化を行うため、(仮称)上郷河原口線のアプローチ部などの関連道路を整備します。

◇事業費:21億2,600万円(継続費) 工事期間:令和2年度～令和5年度



(仮称)上郷河原口線アプローチ部完成イメージ

### 市道62号線延伸事業の推進 8,400万円

市道62号線を延伸し、鳩川に橋を架けることにより、海老名駅西口地区のアクセス性の向上を図ります。

◇事業費:3億300万円(継続費) 工事期間:令和2年度～令和4年度

## 豊かな学びを育むまち

### 校舎等LED化整備事業(中学校3校) 9,700万円〈新規〉

計画的に学校施設のLED化を推進し、生徒の学校環境の保持、向上を図ります。



有馬図書館、門沢橋コミセン完成イメージ

### 今泉小学校増築工事 2億900万円

今泉小学校の児童数増加に伴い、令和4年度に教室不足が予測されることから、令和2・3年度に校舎の増築を行い、教室不足の解消を図ります。

◇事業費:12億3,600万円(継続費) 工事期間:令和2年度～令和3年度

### 有馬図書館、門沢橋コミセン大規模改修工事 6億8,300万円

老朽化に伴う大規模改修を通して、隣接する門沢橋コミュニティセンターと効果的な一体活用を目指し、来館者の利便性の向上を図ります。



有馬図書館閲覧室イメージ

## 安全で安心して暮らせるまち

### 今里出張所長寿命化工事 3,100万円

老朽化した給油施設を適正に維持管理するため、改修工事を実施します。

### (仮称) 消防署西分署整備事業 4億2,800万円

近年の駅間開発等による商業活性化、人口増に伴う消防・救急需要の増加に対応するため、(仮称)消防署西分署を整備し、市民サービスの向上を図ります。

◇事業費:6億7,300万円(継続費) 工事期間:令和元年度～令和2年度



(仮称)消防署西分署イメージ

### 水難救助用ボート・検知警報器等整備 800万円〈新規〉

多種多様な災害に対応するため、風水害発生時に効果的な水難救助用ボートや化学テロ等の災害発生時に物質を検知することが可能な検知警報器を整備し、消防力の充実強化を図ることで、市民の安全安心を確保します。



検知警報器



水難救助用ボートイメージ

## かがやきを創造するまち

### RPAシステム及びAI-OCRシステムの導入 700万円〈新規〉

ICTの高度活用による業務効率改善を行うため、RPA(ロボットによる業務自動化)及びAI(人工知能)自動読取システムを導入し、定型的業務の労働力の省力化に努めます。

### 自動音声電話催告システムの導入 200万円〈新規〉

税などの未納者に対して、自動音声の電話催告やSMSを活用した催告を行い、収納率の向上を図ります。



## 新たな発見ができるまち

### 市制施行50周年記念誌の作成 200万円〈新規〉

これまでの市の歩みや、歴史・文化、将来像、未来に向けたまちづくりなどの功績を記録に残し、後世に伝えるとともに、広くPRするため「市制施行50周年記念誌」の発行準備を進めます。

◇事業費：400万円(継続費) 事業期間：令和2年度～令和3年度

### 広告等によるシティプロモーションの実施 800万円

海老名市の認知度の向上や市民の愛着と誇りの醸成を図るため、PR事業を展開し、「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」の実現に向けた積極的な情報発信に努めます。



## その他の重点事業

### 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業 5,700万円

- 聖火リレーが本市を通過することに合わせ、ミニセレブレーションを実施します。
- 聖火フェスティバルに合わせ、障がい者施設で火を灯し、採火式を実施します。
- 学校連携観戦チケットを活用し、市内の小中学生にオリンピック・パラリンピックの観戦機会を提供します。



### GIGAスクール構想の実現 5億7,000万円

- 国の方針に伴い、学校教育の情報化を推進する「GIGAスクール構想の実現」を図るため、市内小中学校に在籍する児童生徒1人につき、1台のタブレットを計画的に整備します。
- 校内の高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、学校ICT環境の充実を図ります。



## 市債及び基金残高の状況

○令和2年度の市債残高は423億600万円（前年度比3億600万円の増）、基金残高は61億2,600万円（前年度比6億2,900万円の減）となる見込みです。

（単位：千円）

区分	平成30年度末	令和元年度末	増減額	令和2年度末	増減額
市債残高	40,434,847	42,000,653	1,565,806	42,306,313	305,660
一般会計	27,324,535	29,056,529	1,731,994	29,553,156	496,627
企業会計	13,110,312	12,944,124	△166,188	12,753,157	△190,967
基金残高	6,714,223	6,755,029	40,806	6,125,947	△629,082
財政調整基金	2,581,511	2,297,567	△283,944	2,600,510	302,943
新まちづくり基金	1,726,102	1,182,961	△543,141	828,718	△354,243
公共施設等あんしん基金	1,993,925	2,206,480	212,555	2,123,676	△82,804
その他基金	412,685	1,068,021	655,336	573,043	△494,978

注：特別会計で管理する基金は除いています。

## お問い合わせ先

海老名市 財務部 企画財政課  
 電話 046-235-8453 (直通)  
 F A X 046-233-9118  
 E-Mail [zaisei@city.ebina.kanagawa.jp](mailto:zaisei@city.ebina.kanagawa.jp)